

# 子育て支援だより

## 「子育てワンポイントアドバイス」

### 第77回 「登園・登校渋り」

こころの相談員 前田 里美

子どもたちはそろそろ新しい環境にも慣れ、ゴールデンウィークで心身ともにホッと一息緩みがちです。頑張っていた子も、5月になってから登園・登校渋りが始まる子がいるかもしれません。そこまでいなくても、ぐずることが増えたり、ベタベタくっついてきたり、やけに気分が高揚するなど、いつもと様子が違うのは「困ったな、どうしよう。」「嫌だなあ。」「寂しいよ。」「疲れちゃった。」等のサインです。

でも、大丈夫。必ず落ち着いていきます。その最中では一週間でも一ヶ月でも長く感じるかもしれませんが、子どもの成長は早いので変化も早いです。親は毎日の生活の中、特に朝の忙しい時間ぐずられるのは大変でエネルギーがいりますが、辛抱強く「そうだね。嫌なんだ。」と同調しながらも、「家で帰ってくるのを待ってるからね。」「お母さんも仕事がんばってくるから。」と送り出してあげてください。子どもは行きたくない理由をいろいろ挙げますが、大抵はお母さんと離れたくない・家の外での不安や疲れが根本にあるのです。家ではスキンシップや一緒に楽しい時間を過ごし、休日だからと遊ばせ過ぎず、せめて日曜の夜は早く寝かせて万全の態勢で学校に行けるようにしてあげましょう。月曜日にグッタリしていたり、眠ってしまったたり、やる気の起こらない子が何人も居るのが現状です。子どもは元気ですが、自分をコントロールできないので、小さいうちは親が管理してあげる事が必要でしょう。

また、大人には想像できない子どもの感じ方もあります。小学校に入ると、急に細かく時間に区切られ大勢で共に行動しますが、中には「もっと遊びたいのに。」「今はこれがしたいのに。」と自由を奪われる場所の様に思う子もいれば、自分は何をしたらいいのかわからず不安な子、何でみんな一緒なのかと疑問を持つ子、勉強が嫌いな子などがいます。私もそうですが、『いったいどう思っているのだろうか?』と子どもの目線で感じる事ができれば、問題と捉えられる子どもの言動も少しは理解できるかもしれませんね。

※前田相談員は、朝日小学校・中学校で相談活動を行っています。

## 育児相談のご紹介

お子さんの身体計測、育児相談を行っています。

保健師、看護師、助産師、管理栄養士、心の相談員などがおります。

育児をする中で、困ったことや心配なことがあれば、お子さんと一緒に、お気軽にお越しください。



\*日時：毎月第3金曜日 9時30分～11時、13時～14時

\*場所：朝日町保健福祉センター 保健室